

## レファレンス・コーナー -- プリンストン大学ラテンアメリカン・パンフレットコレクション (ブックシェルフ)

著者	加藤 真穂
権利	Copyrights 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	148
ページ	59-59
発行年	2008-01
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00005103">http://hdl.handle.net/2344/00005103</a>

## レファレンス コーナー プリンストン大学 ラテンアメリカン パンフレットコレ クション

加藤真穂

一九七〇～八〇年代のラテンアメリカでは、民主化への動きや経済危機などの社会変動を背景に、市民社会を主体とした多様な社会運動が展開された。代表的なものに、軍政下での弾圧に対抗する人権擁護運動や都市貧困層の女性による生活相互扶助運動がある。このような政治的・社会的に流動的な時代にラテンアメリカ諸国で刊行された人権問題、女性・ジェンダーに関する資料をまとめ、マイクロフィルム化したものが、Princeton University Latin American Pamphlets Collection に収録されている。そのうち、アジア図書館が所蔵する計三五リール(表1)には、プリンストン大学が一九八三年～九二年の間に収集した人権団体や女性団体の機関誌、活動集会の告知ポスター、ワークショップのプログラムなど多種多様な印刷物が数多く収録されている。流通が限定的である上に、散逸しやすいこれらの資料は、当時を多面的に見るための一次資料

として極めて価値が高い。以下では、収録内容の一部を簡単に紹介する。

### ① Human and Civil Rights (人権・市民権)

ラテンアメリカの多くの国では一九七〇～八〇年代の軍政下、反体制派に対する深刻な人権侵害が頻発していた。その後、民主化の過程で、その実態が公に問題化されていった。チリの場合、民政移管後に人権侵害の真相究明委員会が設置され、軍政下での弾圧の実情を明らかにした調査報告書が公にされている。一方、同コレクションには、強制連行・拷問などの弾圧の渦中にあつた人権団体や労働組合が発行した各種印刷物が収録されており、被害者の側からみた、当時の状況に迫ることができる。

#### ・チリ

Bolea CODERU (収録：一九八三年五月～八九年五月、欠号あり)

#### CODEPU (Cooperación de

Promoción y Defensa de los Derechos del Pueblo) は軍政下の一九八〇年に設立された人権団体で、人権侵害の告発、被害者及びその家族の支援活動を行っている。機関誌は、軍部による市民社会に対する苛烈な弾圧の実態を報告しており、民政移管後に公刊された報告書からは窺い知ることができない人権侵害の生々しい実態が浮かびあがってくる。

#### ・ウルグアイ

回国では、一九八五年の民政移管後、一五年を経て人権侵害の実態に

関する公式調査が開始され、本年になって報告書が公開された。同コレクションには、軍政下の一九八一年に設立された人権団体、Servicio Paz y Justicia のウルグアイ支部が刊行した *Amnistía y Reconciliación Nacional: propuesta del Servicio Paz y Justicia Uruguay* 及び *Cuadernos Paz y Justicia* が収録されている。

### ② Woman and Gender Issues (女性・ジェンダー)

ラテンアメリカの女性を取り巻く問題は、ジェンダーによる不平等だけでなく、階層やエスニシティによる社会的不平等など複合的である。そのため、欧米のフェミニズム運動とは異なるかたちで女性の地位向上を主張する運動が展開されてきた。一九八〇～九〇年代には、民主化や経済危機を背景に、軍政下での人権運動や共同炊事活動などの生活相互扶助の取り組みにおいて、女性が主体的な役割を果たし、階級や地域を越えた新たな運動へと発展した。

#### ・ペルー

Movimiento Manuela Ramos Bolein (収録：一九八二年三月～八四年五月)

Movimiento Manuela Ramos は、一九七八年に創設された女性団体で現在でも積極的にジェンダーの諸問題に取組んでいる。発行当初の手書きの機関紙では、生活相互扶助の取り組みの記事が目立っている。

#### ・チリ

Acción Femenista, Comité de

表1 マイクロフィルム所蔵リスト

タイトル	請求記号 (/Micro/MD*)	リール数
Human and civil rights in Argentina	MD1089/1-2	2
Human and civil rights in Brazil	MD1090	1
Human and civil rights in Chile	MD1091	1
Human and civil rights in Nicaragua	MD1092/1-3	3
Human and civil rights in Peru	MD1093	1
Human and civil rights in Uruguay	MD1094	1
Racial groups in Brazil	MD1095/1-3	3
Women and gender issues in Argentina.	MD1097/1-5	5
Women and gender issues in Brazil	MD1098/1-3	3
Women and gender issues in Chile	MD1099/1-5	5
Women and gender issues in Cuba	MD1100	1
Women and gender issues in Ecuador	MD1101	1
Women and gender issues in Latin America	MD1096/1-3	3
Women and gender issues in Nicaragua	MD1102	1
Women and gender issues in Peru	MD1103/1-2	2
Women and gender issues in Uruguay	MD1104/1-2	2

Defensa de los Derechos de la Mujer, Frente de Mujeres Caro Ochoyaga などの女性運動団体が発行(一九八五～八七年)した各種書簡、機関誌などが収録されている。

### ③ Racial Groups in Brazil (人種)

Progresso (一九二八年～三二年、欠号あり) O claim d' amorada (一九二五年～三三年、欠号あり) など、同国における黒人運動の黎明期とされる二〇世紀前半に発行された新聞が収録されている。黒人系によって編集・発行されたこれらの新聞は、当時の彼らの主張が表明されている数少ないまとまった資料である。掲載内容は、人権問題を主題とした記事から、黒人コミュニティ内での各種告知など多岐にわたっている。

(かとう まほ/アジア経済研究所図書館)